

堀川浄化施策による水質改善効果の測定結果について

1 調査目的

名古屋市が実施した3つの堀川浄化施策により、堀川の水質（透視度、BOD、COD、りん濃度）がどのように変化するかを調査した。

2 3つの浄化施策の内容

(1) 名城下水処理場における凝集剤の添加による処理水質の向上

位 置 名城下水処理場

内 容 下水処理工程の中で凝集剤を添加することにより、処理水質をさらに向上させる実験を実施

処理水量 $0.6\text{m}^3/\text{秒程度}$

実施時期 平成17年11月1日(火)~11月30日(水)

(2) 鍋屋上野浄水場における作業水の導水

位 置 鍋屋上野浄水場

内 容 浄水場で発生する作業水（水質サンプリング排水、急速ろ過池洗浄水）を堀川に導水する

処理水量 $0.04\text{m}^3/\text{秒程度}$

実施時期 平成17年11月1日(火)~継続

(3) 浅層地下水の導水

位 置 木津根橋付近

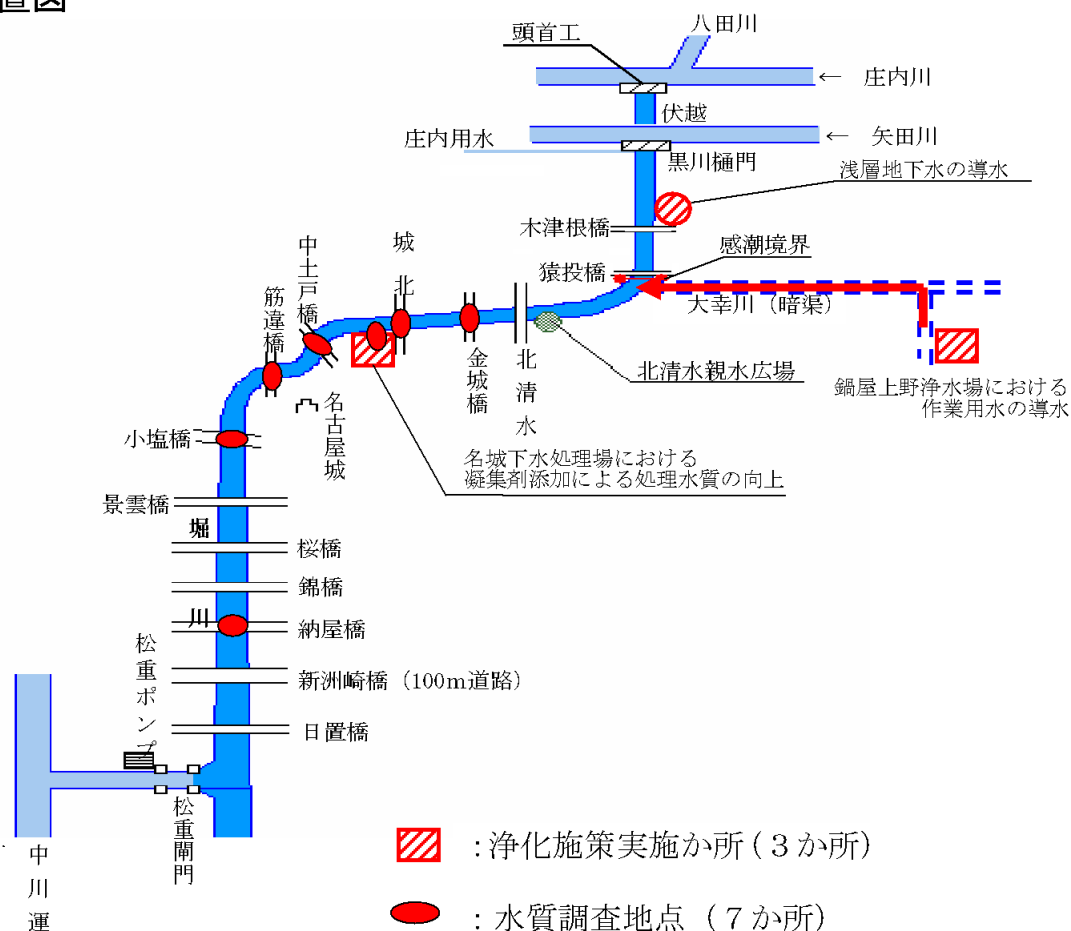
内 容 地下水の水位・水質・水量を調査するとともに、その揚水を堀川に放流する

処理水量 $0.01\text{m}^3/\text{秒程度}$

(昨年度 $0.01\text{m}^3/\text{秒程度}$ 実施、合計 $0.02\text{m}^3/\text{秒程度}$)

実施時期 平成17年11月1日(火)から2か年

3 位置図

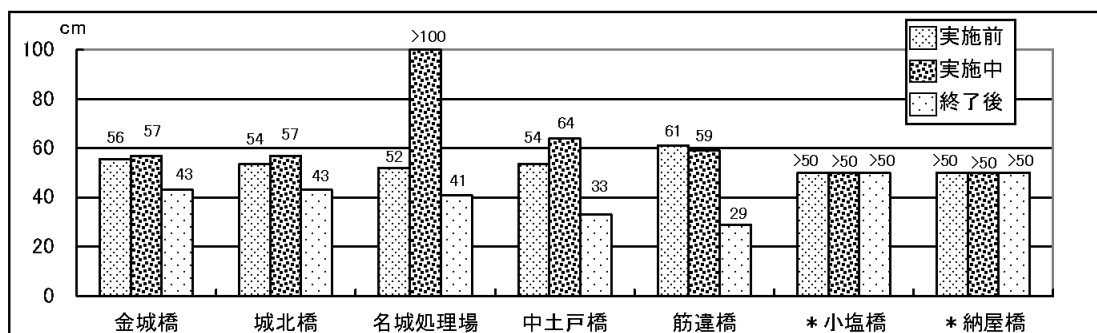


4 水質調査結果 (資料-1 参照)

- 全ての水質項目とも、概ね全ての水質調査地点において、浄化施策による水質改善が見られた。
- 透視度については、実施前に比べ最大20%程度（中土戸橋）の改善が見られた。
- BODについては、実施前に比べ14～32%程度（金城橋～納屋橋）の改善が見られた。
- CODについては、実施前に比べ12～18%程度（金城橋～小塩橋）の改善が見られた。
- りん濃度については、実施前に比べ50～88%程度（城北橋～納屋橋）の改善が見られた。

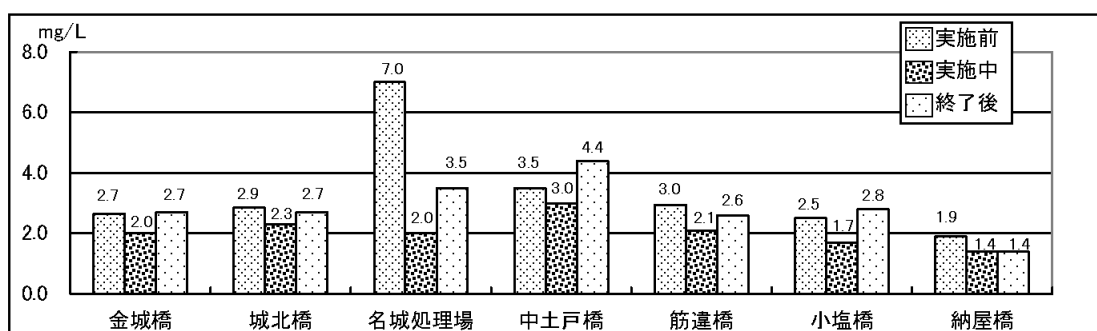
水質調査結果(名古屋市実施)

● 透視度

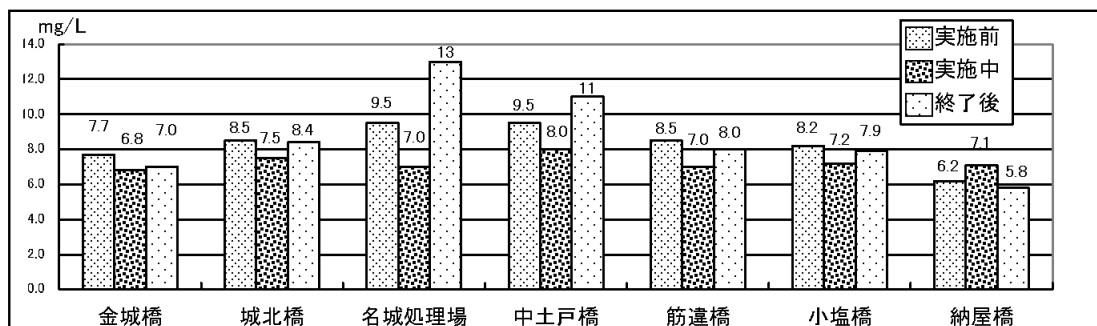


※ 小塩橋、納屋橋は、50cm透視度計使用。その他は100cm透視度計使用。

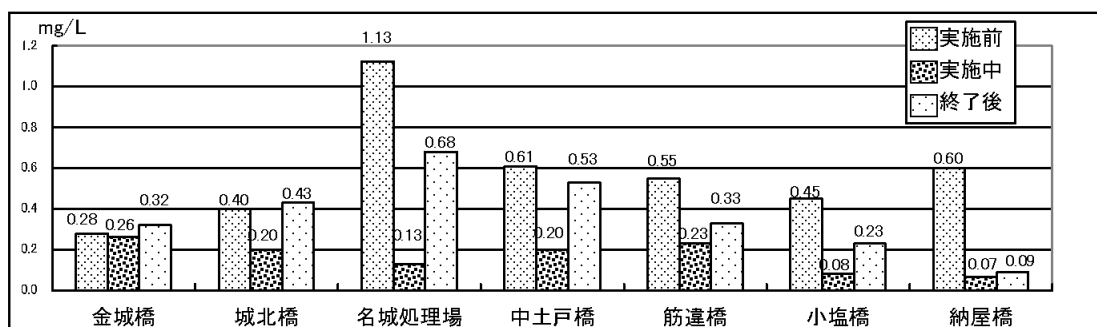
● BOD



● COD



● りん濃度



注1 「実施中」は3つの浄化施策実施中、「終了後」は名城処理場の実験のみ終了で、他の2施策は継続実施中。

注2 「実施前」は10月、「実施中」は11月、「終了後」は12月の、いずれも中潮の日の下げ潮時(満潮→干潮)に測定。

注3 名城処理場は、処理水のデータである。